

一般会計予算など4議案の問題点を指摘

平良木議員が
議案反対討論



中川市長にとっての初めての予算案を審議した3月定例市議会が28日、討論と各議案の採決を行って閉会しました。

今議会のポイントは、中川市長による市政運営がどのような方向になるのかが問われる新年度予算案の審議でした。

これまで党議員団が求めてきた暮らしのための施策が多数盛り込まれる一方で、公共施設を次々に廃止・譲渡する「行政改革」が進められるなど、単純には評価できない予算が提案されました。

予算案に対して 平良木議員が反対討論

党議員団は、これら予算案を細かく分析し、その評価を平良木議員の討論で行いました。

まず、高齢者を含む全年齢にわたって補聴器の購入を補助する制度改善や住宅リフォーム補助の上限額引き上げなどの拡充、2歳児の保育料軽減の対象拡充などを大いに評価しつつ、一方で多額の財政調整基金残高を残しながらコロナ禍で困窮している市民への支援が十分ではないこと、学校給食の民間委託などを継続していることなどの問題点を指摘し、議案に反対しました。

また、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3つの特別会計予算案に対しても、収入が減っているのに負担は減らない、所得が低い人ほど収入に対する負担の割合が大きいという

逆累進制の過酷な負担を強いているという点を指摘し、反対しました。

上野議員・橋爪議員が
請願に賛成の討論

続いて、上野議員が「老齢基礎年金等の抜本的な改善を求める請願」への賛成討論を行いました。

橋爪議員は、「若者が仕事をもち、この地で暮らせる所得を確保することが重要」「コロナ禍で経営が厳しくなっている中小企業・小規模事業者へのしつかりとした支援を実現し、安心して最低賃金の引き上げができるよう議会が一丸となって応援していこう」と、採択を訴えました。

最後に橋爪議員は、「最低賃金の改善と地域経済の回復に向けた意見書の採択を求める請願」への賛成討論を行いました。

上野議員は、「若者が仕事をもち、この地で暮らせる所得を確保することが重要」「コロナ禍で経営が厳しくなっている中小企業・小規模事業者へのしつかりとした支援を実現し、安心して最低賃金の引き上げができるよう議会が一丸となって応援していこう」と、採択を訴えました。

市民の願いの請願 僅差で不採択

3月定例市議会には、市民団体から3つの請願が出されました。

このうち、「子どものマスクが心配な母ちゃん父ちゃんず」から出された「上越市の子どもたちの心身の健全な成長、発達のための教育活動を求め、それに関わる多様な考え方や選択を尊重することを求める請願書」は、全会一致で継続審議となりました。

年金者組合から出された「老齢基礎年金等の抜本的な改善を求める請願」は、既報の通り厚生常

任委員会では採択されましたが、本会議では13：17の僅差で不採択となりました。

また、地区労連から出された「最低賃金の改善と地域経済の回復に向けた意見書の採択を求める請願」は、10：20で不採択となりました。

理のある請願に対して賛同する議員が増えてきたことは特筆すべきですが、いまだに多くの議員が市民の願いに背を向けていることは非常に残念です。

「福祉関係の温浴施設は効率が悪く 存続させても人口は増えないので廃止する」と放言

今議会で中川市長は、上野議員の一般質問に対して「福祉関係の温浴施設は効率が悪く、存続させても人口は増えないので廃止する」という旨の答弁を行いました。

これは、上野議員が市民いこいの家の浴室廃止方針についてただした際の言葉です。市民いこいの家の浴室は、市が廃止の方針を打ち出したのに対して市民から存続を求める声が大きくなったため、新年度は営業を継続することになっています。このことについて上野議員は、

であれば、市民の声をしっかり聞いて存続させるべきではないか」とただしたのに対して、上記の答弁を行い、存続を願う市民の願いに背を向ける姿勢を示しました。

同時に中川市長は、「地域の活性化のためには、若い人が定着することだと思っており、そのために何をするのかというところに力をかけていきたい」と述べました。

なお、市長は29日の記者会見で、「上野議員への答弁は言葉が過ぎたが、浴室廃止の方針は変えずに説明を重ねる」と繰り返しました。

市政は市民全体のためではなくてはなりません。市民を分断し、一方のためだけに偏って力をかけるという姿勢は、とうてい許されません。



PCR検査等実施件数 (3月25日現在)	
PCR検査実施件数	27,640件(前週+ 737)
陽性件数	1,763件(前週+ 149)
抗原検査実施件数	14,930件(前週+ 591)
陽性件数	675件(前週+ 72)
上越市内陽性件数	1,974件(前週+ 225)

日本共産党上越市議員団ニュース
No.747 2022年4月3日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))